

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

単施設研究用

## 〇〇に関する研究

早産児の発達推移と妊娠高血圧症候群の影響：混合効果モデル解析

### 1. 研究の対象

2016 年 1 月～2022 年 3 月に当院で出生した 1500g 未満の児

### 2. 研究目的・方法

妊娠高血圧症候群（HDP）は、胎盤機能不全や胎児発育遅延を通じて低出生体重や早産を引き起こしやすく、児の神経発達に影響し得る周産期リスク因子として知られています。出生体重 1500g 未満の児は周産期合併症の影響を受けやすく、早期支援や継続的フォローが重要です。HDP が発達の経時的変化に与える影響を明らかにすることは、高リスク児に対する適切な早期介入やフォロー体制の構築に役立つと考えられます。

2016 年 1 月～2022 年 3 月に当院で出生した 1500g 未満の児のうち、修正 1 歳半および 3 歳の時点で新版 K 式発達検査を受検した児を対象に、混合効果モデルによる縦断解析を実施します。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2026 年 4 月 19 日

利用又は提供を開始する予定日：2026 年 4 月

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から児の情報（性別、出生週数、出生時体格、修正 1 歳半および 3 歳での新版 K 式発達検査結果）および母体情報（年齢、分娩回数、HDP の有無）を得ます。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

\*\*\*\*\*

研究責任者：

高知県南国市岡豊町小蓮

088-866-5811

高知大学医学部小児思春期医学講座 上村智子

-----以上